

松任石川・つるぎ病院だより

平成25年
新春
特別号

“病院から施設、施設から在宅へ”
住み慣れた地域で安心して暮らせる
“まちづくり”

白山石川医療企業団



公立松任石川中央病院



公立つるぎ病院

白山石川医療企業団 基本理念

私たちは、みなさまの健康な生活を支えるために

- ・期待にこたえられる良質な医療に努めます
- ・安心・安全で信頼される医療に努めます
- ・切れ目のない包括的な医療に努めます

公立松任石川中央病院

TEL : (076) 275-2222 / FAX : (076) 274-5974

診療受付時間

午前 8時～11時30分
午後 12時30分～16時30分

※休診日 土・日・祝/年末年始
※緊急の患者に関しては救急外来にて診察いたしております
※診療受付時間は、診療科によって異なりますので、
詳しくは当院ホームページをご覧ください
URL : <http://www.mattohp.jp>

診療科目

消化器内科、循環器内科、腎高血圧内科、呼吸器内科、
糖尿病内分泌内科、甲状腺診療科、精神科神経科、神経内科、
ものわすれ科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、
小児外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、
リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、
歯科、総合健診センター、PETセンター



- 住所 石川県白山市倉光三丁目8番地
- アクセス JR松任駅からバスが運行されています

公立つるぎ病院

TEL : (076) 272-1250 / FAX : (076) 272-3144

診療受付時間

午前 8時～11時45分
午後 12時45分～16時30分

※休診日 毎月第2・4土曜日、日・祝日/年末年始
※毎月第2、4土曜日以外の土曜日は、午前のみ診療
※緊急の患者に関しては救急外来にて診察いたしております
※診療受付時間は、診療科によって異なりますので、
詳しくは当院ホームページをご覧ください
URL : <http://www.tsurugihp.jp>

診療科目

内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、
呼吸器内科、脂質代謝内科、神経内科、腎臓内科、
膠原病・リウマチ内科、小児科、外科・胃腸科、整形外科、
脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、
ものわすれ科、放射線科、リハビリテーション科、健診科



- 住所 石川県白山市鶴来水戸町ノ1番地
- アクセス ・加賀産業道路「安養寺北」交差点より国道157号を白峰方向へ10分
・北陸鉄道石川線 「鶴来駅」徒歩10分



吉野谷
診療所

TEL : (076) 255-5019



中宮
診療所

TEL : (076) 255-5019
(吉野谷診療所内)



白峰
診療所

TEL : (076) 259-8002

トップメッセージ

年頭のご挨拶



白山石川医療企業団
企業長 久保田 幸次

平成25年の幕開けです。昨年暮れに、3年3ヶ月ぶりに再び政権交代がなされました。
しかし、近年の高騰する医療費の抑制に向けた政策は、政権が変わっても変化しないものと考えられ、医療にとっては、今後も厳しい情勢が続くものと予測されます。

昨年は、公立松任石川中央病院では、県より地域医療支援病院として承認を受け、地域医療を支えるため高度の医療設備と手厚い職員の配置を行い、急性期医療と救急医療の推進に力を注ぎました。また、病診連携をさらに促進させ、市民公開講座など情報の発信、普及にも努めました。公立つるぎ病院においては、国の進める在宅医療拠点事業に参画し、医療から介護へ、施設から社会への橋渡しを担うため、地域の医療、保健、福祉との連携ネットワークの構築に努めました。
今後も引き続き、白山石川医療企業団においては、限られた医療資源を効率的かつ有効に利用するため、公立松任石川中央病院と公立つるぎ病院のそれぞれの役割を認識し、地域住民の健康を守るため地域のあらゆる関連施設との連携を密にし、予防から救急、急性期医療、亜急性期から回復期、療養期までのすべてを担い、地域完結型の包括的医療の推進に努めます。また、地域の皆様から信頼され、安全・安心な医療を維持するため、不断の努力を怠らず、全ての職員が誇りを持って仕事ができるよう、尽力いたします。
皆様の一層のご理解とご支援を、お願い申し上げます。



公立松任石川中央病院
病院長 卜部 健

新春のお慶びを申し上げます。皆様にとって幸多き巳年となりますよう心から祈念いたします。
昨年はロンドン五輪で日本中が熱くなり、日本の「チーム」の大活躍が目立ちました。個々の力がチームとしてまとまることでより大きな力が発揮された結果であろうと思います。
医療の現場においても「チーム医療」の重要性が言われ、多職種のスタッフが一人の患者さんについて、それぞれ専門的な立場から意見を出し合い、その患者さんにとって最善



公立つるぎ病院
病院長 島田 敏實

公立つるぎ病院では、本年も外来機能の質向上、入院での患者満足度の向上を目指して引き続き取り組んでまいりたいと考えています。

かつ良質な医療を提供しようというものです。当院でもいろいろなチームが活動し患者さんのニーズにお応えしています。
さらに地域という視野に立てば医療機関、介護施設、保健衛生機関、行政機関を含め密に連携して、地域住民の健康管理増進のために活動していることも「チーム」として捉えてもよいと思います。
当院は昨年、地域医療支援病院の承認を受けました。患者さんに身近な地域で適切な医療が提供される地域完結型医療の中核病院として、救急医療の提供、かかりつけ医からの紹介患者に対する医療提供、共同利用できる高度医療機器の整備、医療機関にかかわる人の研修の実施などが役割として挙げられます。
換言すれば地域医療を推進するチームの「主将」としての責任が求められています。この責務を全うし皆様から金メダルの評価をいただけるよう職員一同努力してまいりたいと思います。本年も皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、リハビリテーションや在宅医療の充実に取り組むことにより、行政や医療と介護、福祉、保健を担う多職種の方々の連携を行い、来るべき高齢化社会に対して、国の求めますところの医療・介護の協力体制の確立を目指してまいります。特に、病院と診療所、診療所同士の協力が進むような院内体制をとることで、住民の方々に満足いく病院となるのではないかと考えています。
本年も、職員一同、行政・公立松任石川中央病院や各医療機関・事業所と連携しながら、患者さん中心の最良の医療に努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

当企業団では、地域のみなさまの健康な生活を支えるため、日頃から安心・安全な医療環境の整備に注力してまいりましたが、それらの取り組みが国や自治体から一定の評価を受けることになりました。ここではその概要についてご報告します。

地域の医療機関を後方支援 地域医療の地下づくりに貢献

公立松任石川中央病院は昨年4月、地域医療支援病院の承認を受けました。これは、地域の病院や診療所などを支援する役割を担う病院で、現在、県内では3病院しか承認されていません(※「地域医療支援病院」については、次頁特集も併せてご覧ください)。

また昨年5月には、平成24年度自治体立優良病院総務大臣表彰を受賞しました。この表彰は、自治体立の病院で、地域医療の確保に重要な役割を果たしており、かつ、経営の健全性が確保さ

れている病院を表彰するため、毎年一回実施されているものです。昭和61年度に設けられ、今年度は27回目となります。当院は平成17年度にも受賞しており、二度目の受賞となります。
全国にある850あまりの自治体立病院のうち、今年度は4病院が受賞。これまでに延べ129病院が表彰されており、二度の表彰を受けたのは、当院を含め7病院のみです。

多職種連携に基づく 在宅医療の体制構築

一方、公立つるぎ病院は昨年4月から、在宅医療連携拠点事業を推進する病院として、厚生労働省からの採択を受けました。これは、在宅医療を展開する病院、診療所、訪問看護ステーションなどが拠点となり、地域の中で多職種協働による在宅医療の支援体制を構築しつつ、医療と介護が密接に連携する包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目的とした事業を指しています。今年度は全国で105か所、県内では2か所選定され、当院もその一つとして、地域住民の生活の質向上に取り組んでいます。

当企業団の取り組みが、国や自治体



平成24年5月24日、都市センター(東京都)で行われた総務大臣表彰授賞式にて(後列左が木下悟、白山石川医療企業団副企業長)

当企業団が国や自治体から評価されました

より住みやすい“まちづくり”の実現に向けた取り組み

【公立松任石川中央病院】 地域医療支援病院承認(石川県知事)／自治体立優良病院総務大臣表彰(総務省)
【公立つるぎ病院】 在宅医療連携拠点事業採択(厚生労働省)



自治体立優良病院総務大臣表彰の際にいただいた楯(公立松任石川中央病院)

地域医療支援病院としての役割を果たすために 連携を軸とし医療の質向上

公立松任石川中央病院は、昨年4月に地域医療支援病院としての承認を受けました（関連記事…3頁）。この地域医療支援病院とは、一体どんな役割を担うのでしょうか。当院の取り組みと方向性を踏まえながらご説明していきます。



正面玄関左にある、初診・紹介・入院患者受付。紹介状をお持ちの患者さんは、まずこちらにお立ち寄りください

かかりつけ医との機能分化で地域完結型の医療提供体制を構築

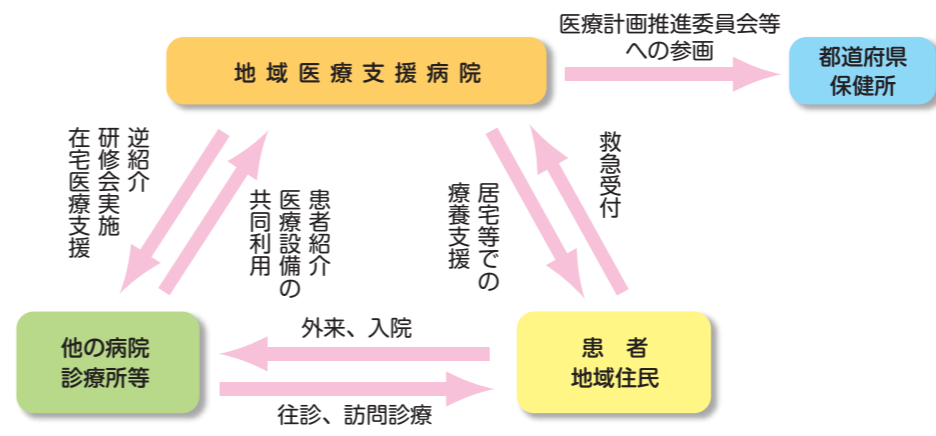
地域医療支援病院とは、医療法で制度化された医療機関の機能区分に向けた方策の一つで、都道府県知事が個別に承認する仕組みになっています。承認されるにはいくつかの要件を満たす必要があるのですが、それらを当院の取り組みに照らし合わせながらご紹介いたします。

まず、紹介状をお持ちの患者さんを優先する診療体制を敷いています。これには、かかりつけ医と専門医の機能分化を積極的に推進

すること、地域完結型医療の基盤を構築しようとする想いが込められています。当院は、地域の急性期病院として専門的な治療や検査、手術などを手がけるといって役割を担っています。そこで、その責務を全うするため、比較的病態の安定している方は地域のかかりつけ医が担当し、救急や高度医療が必要な患者さんを当院にご紹介いただく、という体制を整備しています。また、急性期を脱し、症状が安定した患者さんや慢性疾患を抱える方は、リハビリ病院や療養病床のある病院、かかりつけ医に逆紹介するという流れをつくり上げていきます。

この機能分化をより強化するため、当院が保有するPET/CTやMRIなどの高度医療機器を共同利用できる体制づくりに努めています。

このように、かかりつけ医と当院双方の役割を明確に分けることで、地域住民が安心して医療を受けることができる。まちづくりを追求しているのです。



医療の質を保つため講習会の開催にも注力

救急医療に関しては、地元救急隊や近隣の医療機関との連絡を密に図り、患者さんの速やかな搬送に対応できるよう、24時間365日受け入れ体制を敷いています。院内設備としては、集中治療室（ICU）を4床、ハイケアユニット（HCU）を8床配備。心筋梗塞や呼吸不全などの重症患者さんの治療を迅速に行える医療環境を整備しています。

また、地域全体の医療の質を向上さ

せるため、かかりつけ医や近隣の医療機関との合同研修事業にも注力しています。当院専門医が、さまざまな分野の症例ごとに講習会を開催。最新の医療技術を共有することで、どの医療機関で診療を受けても、一定の医療水準が確保できる環境を整えています。

地域住民に対しては、乳がんや糖尿病、認知症といったみなさまの関心が高いテーマの勉強会も開催し、医療知識の底上げにも努めています。

**行政と密接な連携を図り
安心・安全なまちづくり**

一方、行政との連携も密に行っています。県保健所や市町担当者、地元医師会長などに参加していただく「地域医療支援病院運営委員会」、「オープン病床運営委員会」、「松任石川中央病院連絡協議会」を定期的に開催。この地域における最適な医療提供体制について、日々話し合いを重ねています。

これら地域医療支援病院としての取り組みが、地域住民に対して安心・安全な医療を提供できる。まちづくりに貢献できると確信しています。今後



地域の医療従事者を集めた研修会を定期的に開催。密接な地域連携を目指しています

企業団連携医療機関一覧

浅井小児科医院	津田内科医院
あさがおクリニック	津山クリニック
旭診療所	てらしま内科クリニック
有川整形外科医院	とみたクリニック
池田病院	長尾医院
いこまともみレディースクリニック	ながしまクリニック
いのくち内科医院	中島内科医院
今村耳鼻咽喉科医院	なかてクリニック
井村内科医院	中村皮フ科クリニック
ういえ耳鼻咽喉科クリニック	なごみ苑
うしむら眼科クリニック	なんぶこども医院
大倉外科医院	にしかわクリニック
岡村内科医院	のいちクリニック
御経塚クリニック	野々市こころのクリニック
織田内科クリニック	のいち産婦人科クリニック
小野木医院	のいち白山醫院
金沢脳神経外科病院	はしもと内科クリニック
かわい小児科医院	ばんどう内科診療所
川北温泉クリニック	深江レディースクリニック
川北こどもクリニック	福留クリニック
かわきた整形外科醫院	船木病院
河内うらた医院	ふるさわ内科クリニック
喜多内科医院	べんクリニック
北村内科医院	ほりかわクリニック
恵愛会 松南病院	松任整形外科クリニック
斉藤小児科医院	松葉外科胃腸科クリニック
さかえ内科クリニック	南ヶ丘病院
真田医院	みやうち眼科
さなだクリニック	三幸小児科医院
しおのやクリニック	むとう小児科医院
嶋医院	森 明弘クリニック
下崎整形外科医院	矢ヶ崎外科医院
しらお眼科	安原医院
新内科医院	やなぎ内科クリニック
新村病院	やまかわ内科クリニック
すえよし整形外科クリニック	やまぎしレディスクリニック
せいだクリニック	山本クリニック
聖来美クリニック	やまもと内科医院
だいもん内科・腎透析クリニック	吉光内科医院
高田内科クリニック	よこみやクリニック
たけお皮膚科クリニック	吉村眼科医院
谷内科歯科クリニック	米田内科医院
太郎田医院	わかば内科クリニック
ちくだ医院	わかばやし眼科クリニック
千代野苑	渡辺耳鼻咽喉科医院
つじ川内科クリニック	

(50音順)

みなさまの健康な生活を支えるために①

公立松任石川中央病院の挑戦

公立松任石川中央病院は、地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を図りながら、地域完結型の医療提供体制の基盤づくりを追求しています。当院の医療レベルの底上げはもとより、個々の医療機関が持つ特長を活かし、患者さんの紹介・逆紹介を推進していくことで、地域全体の医療の質向上にも貢献しています。みなさまの健康な生活をサポートする、当院の取り組みをご紹介します。



総合健診センターでは、日帰り・一泊二日間ドックやPETドックなど、各種健診コースを取り揃えています



総合健診センターでは個別相談にも応じ、専門スタッフがデータに基づいたアドバイスを行っています



がんや認知症の早期発見に役立つPETセンターを配備。初めての検査で不安な方にも職員が丁寧に説明します



栄養指導室では管理栄養士がフードモデルを用いて、バランスの良い食事方法を助言します



当院は救急救命医療にも力を入れており、24時間365日受け入れ態勢を敷いています



スタッフ教育体制も充実。日頃からコミュニケーションを大切に、つねに資質向上に向けて取り組んでいます

ベッドサイドでは、患者さんの不安を取り除くため、スタッフが笑顔で接することを心がけています



院内随所には生花や絵画、彫刻などを配置。癒しの空間を演出しています



看護部では定期的に研修会を開催。看護技術の底上げを図り、患者さんに喜んでいただく環境づくりを追求しています



女性特有の心や体に関する悩みに対応する、女性専門相談窓口を設けています

診断から治療、手術後のケアまで
がんの一貫した診療体制を構築

当院が注力している医療の特長のひとつとして、がんの診療体制が挙げられます。かつて、がんは治らない病気として認識されていましたが、医学の進化に伴い、早期に発見することで完治するケースも多く見受けられるようになりました。そこで当院では、石川県地域がん診療連携推進病院として、がんの早期診断から治療、手術後のケアに至るまで、トータル的な診療体制を構築しています。

早期診断においては、当院配備のPET/CTが効果を発揮します。これは、がん細胞の有無や他の臓器への転移、治療後の経過などを短時間で診断することができる画期的な装置です。また、治療面では全身用の放射線治療装置LINACを導入。脳から四肢までピンポイントに照射、種々の病変の治療に対応できます。手術後の患者さん向けには、通院して治療を継続できる外来化学療法室を拡張。さらには、がん相談支援センターの設置や緩和ケア研修会の開催など、患者さんの生活の質向上にも努めています。

全国でも数少ない

PETによる認知症診断を展開

がんの早期発見に役立つPETは、近年、認知症の早期発見にも役立つことで注目を集めています。当院はPIB-PET検査というアルツハイマー病の診断を行える、国内でも数少ない施設の一つです。しかも、PIB検査薬を院内で製造することを認められているため、多くの方々に検査を受けて

いただく環境が整っています。

災害医療体制も整備

食料やライフラインの確保も

災害医療に関しては、毎年欠かさず行っているトリアージ訓練に加え、東日本大震災で医療支援活動を展開した経験を活かし、被災者の受け入れに万全の態勢を整えています。また、普段から食料や飲料水を備蓄していますが、それらの備蓄量の見直しや最低限のライフラインの確保も進めています。

独自のネットワークシステムを構築
医療資源の有効活用に着手

これらの医療資源やノウハウを、地域の中で共有・有効活用していくため、独自の地域医療連携ネットワークシステムを構築しています。

診療所や他病院との間で当院のカルテを共有し、検査予約から結果照会などの情報を一元管理する独自のネットワークシステムである「まっとう連携くん」。また、PETをはじめとする高度医療機器を他の医療機関に共同利用していただくため、「ねっとPET」と呼ばれるシステムも開発。機器の空き状況や予約などをオンラインで確認できる体制をつくり上げています。さらには、地域の医療従事者を集めたさまざまな研修会も開催し、地域全体の医療の質を担保する仕組みづくりも行っています。

当院は今後も、地域住民が安心して暮らすことのできる医療提供環境の整備に注力していきます。

みなさまの健康な生活を支えたい②

公立つるぎ病院の挑戦

公立つるぎ病院は昨年4月、「在宅医療連携拠点事業」を展開する施設の一つとして、厚生労働省からの採択を受けました。これは、医療・介護の拠点を病院などの施設から住み慣れた自宅に移し、安心して自分らしい生活が実現できる社会を目指そうとする、国の施策に基づくものです。では、この「在宅医療連携拠点事業」では、一体どんなことを行うのでしょうか。当院の取り組みに照らし合わせてご紹介いたします。



訪問診療を行う島田敏實病院長。吉野谷診療所の橋本宏樹所長も在宅での診療を手がけています



病棟ではスタッフが患者さん一人ひとりの状態を見極め、的確なケアを実践しています



スタッフは患者さんへの声かけを通じ、入院生活を快適に過ごしていただくアドバイスを行っています



リハビリテーション室の一角には自宅を連想させるスペースがあり、在宅復帰に向けた訓練が行えます



通所リハビリテーションセンターでは送迎車を配備。遠隔地の方や車いすの方でも、サービスをご利用いただけます



利用者の方々の「やりたい」を「できる」に変えるサポートを展開している通所リハビリテーションセンター



疾病についての理解を深めていただくため、地元公民館などへ出向き、各種講演会を行っています（写真は認知症の寸劇）



訪問リハビリテーションでは身体機能の回復や維持に努め、自宅で快適に暮らす能力を引き出すお手伝いをしています



退院カンファレンスでは、医師や看護師、リハビリスタッフら多職種の視点から、在宅復帰後の快適な生活についてアドバイスします

在宅での生活を支えるため
地域連携ネットワークづくりを推進

現代社会における医療・介護の提供環境を見ますと、入院中の医療や施設内での介護が圧倒的多数を占めています。その一方、在宅での療養を望んでいる方が60%以上いると言われています。この需要と供給の逆転現象の中、住み慣れた自宅での生活を中心としつつ、適切な医療・介護サービスを受けることのできる地域包括ケアを推進する動きが国の施策として打ち出されています。これが「在宅医療連携拠点事業」です。

この事業を進めるにあたり、当院は地域連携のネットワークづくりに取り組んでいます。白山ろく鶴来地区の医療機関や訪問看護ステーションなど、在宅医療に関わる多職種の代表で「白山ろく・鶴来在宅医療連携協議会」を発足しました。ここでは、複数の医師や医療・介護スタッフが連携を組み、24時間365日体制で在宅患者さんを支える仕組みの構築に努めています。また、この協議会の取り組みを推進するため、「白山ろくサード連携会議」「鶴来地区サード連携会議」の設置並びに地域における医療連携の推進窓口として在宅医療連携課も設置しました。地域の実情に合わせた医療・介護サービスを追求し、自宅に住みつつ安心して暮らすことのできる体制づくりを行っています。

さまざまな在宅向けサービスを展開
多様化するニーズに対応

自宅での生活を支援するため、院内では在宅向けのサービスにも力を注いでいます。平成22年に在宅療養支援部を立ち上げ、通所リハビリテーションセンターを開設しました。ここでは、日々の生活の中に自分の生きがいを見いだし、より豊かに生活していけるよう「やりたい」を「できる」に変える支援を行っています。また、医師の診断に基づき、理学療法士や作業療法士などの専門スタッフが、一人ひとりに合ったリハビリプログラムを展開。遠隔地への送迎も行い、通いながら効果的なリハビリを受けることができます。

そのほか、リハビリスタッフがご自宅を訪問し、住み慣れた場所で快適に暮らす支援を行う訪問リハビリテーション、医師がご自宅で診療を施す訪問診療も実施。訪問診療に関しては、吉野谷診療所の橋本宏樹所長が中心となり、へき地での診療や看取りを手がけています。また、へき地医療拠点病院の役割も担っています。当院からは、眼科医・皮膚科医を白峰診療所に派遣、さらに河内地区・尾口地区の巡回診療と併せ、地域住民の多様化するニーズに応える体制を敷いています。

地域で安心して暮らしやすい
医療・介護体制を構築

このほか、従来から救急をはじめ、急性期、回復期リハビリテーション、療養と包括的な医療を展開しています。これらも、地域の基幹病院としての役割を全うしつつ、在宅に復帰していただく環境を、より一層整備したいという想いに起因するものです。

高齢化率が低く、専門医療を必要とする鶴来地区。高齢者が多く、在宅での生活に関心が高まる白山ろく。この異なるニーズのある診療圏に対応すべく、当院は今後も地域住民の声を真摯に受け止め、安心して過ごせる地域になるように邁進していきます。

病院から施設、施設から在宅へ

～ 住み慣れた地域で安心して暮らせる“まちづくり”～



白山石川医療企業団

地域医療支援病院
地域がん診療連携推進病院

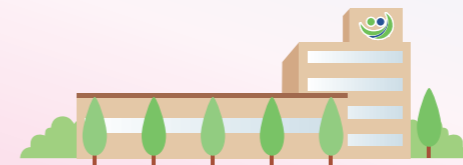
松任石川中央病院
オープン（開放型）病床

へき地医療拠点病院
在宅医療連携拠点事業

つるぎ病院
在宅医療支援病床



近隣医療機関



地域包括
支援センター

へき地診療

吉野谷診療所
中宮診療所
白峰診療所



保健所

住まい

自宅／サービス付き
高齢者向け住宅



薬局



複合型
サービス事業所



訪問介護



訪問看護
ステーション

